

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録(CTなどの画像、採血結果、病理結果)を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 膵頭十二指腸切除術時における右肝動脈の解剖学的変異について

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 浦岡未央（肝胆膵・乳腺外科 大学院生）

【研究の目的】

肝動脈の走行異常は肝胆膵領域の手術において遭遇する頻度が高く、術前にその走行を正確に把握しておくことが重要です。中でも胃十二指腸動脈・腹腔動脈・上腸間膜動脈より右肝動脈が分岐する走行異常を有する症例は非常に稀とされています。このような症例に対して膵頭部癌に対して膵頭十二指腸切除術を行う場合には、肝血流を温存するために、胃十二指腸動脈切離に際して右肝動脈が温存されていることを確認する必要があります。右肝動脈の術中損傷を防ぐためには術前にあらかじめ解剖学的変異が存在することを画像検査で確認しておく、そして、術中に胃十二指腸動脈切離前のクランプテストを行うことが重要です。また、このような変異右肝動脈から中肝動脈が分岐するかどうかの確認も必要となります。当科で施行した PD 症例のうち、上記のような解剖学的変異がどのくらいの頻度存在したのか、術中どのように右肝動脈温存を確認したのか、腫瘍浸潤による右肝動脈切除を要した症例が何例あったのか、解剖学的変異を有する症例における合併症はどのくらい発生したのか等を後ろ向きに調べ、安全で確実な術前評価と手術手技について検討し今後の診療に役立てます。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2011年1月から2022年8月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち肝胆膵外科手術(肝切除術・肝移植・膵頭十二指腸切除術、膵体尾部切除術、胆嚢癌手術)を受けられた患者さん

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、手術日、手術方法、出血量、合併症、既往歴、血液検査データ、画像検査データ、病理結果等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科
浦岡未央

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科 浦岡未央
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5327